

令和8年度全国学力・学習状況調査結果について

令和8年8月
府中町教育委員会

1 調査の目的

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査対象 小学校第6学年及び中学校第3学年の児童生徒

3 調査期日 令和8年4月21日（火）、4月23日（木） 中学校：英語（3技能） 令和8年4月23日（木） 小学校：国語、算数 中学校：国語、数学 令和8年4月30日（木）、5月7日（木） 中学校：英語（話すこと）

4 調査結果 教科に関する調査（国語、算数・数学、英語） 生活習慣や学校環境に関する質問紙調査

【小学校】

教科	対象児童数	全国 (公立)	広島県 (公立)	府中町	県平均 との差
国語	487	60.9	64.0	66.0	+ 2
算数	487	56.4	58.0	60.0	+ 2

【中学校】

教科	対象生徒数	全国 (公立)	広島県 (公立)	府中町	県平均 との差
国語	382	63.9	64.0	65.0	+ 1
数学	383	57.0	57.0	59.0	+ 2
英語3技能 ※1、2	386	499	492	485～494 ※3	- 4

- ※1 中学校の英語は、一人1台端末を用いた（CBT）調査であり、問題の難易度や生徒の学力に応じた基準で数値（IRT スコア）を算出しており、500を基準として表されている。
- ※2 英語3技能は、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の3技能を表している。
- ※3 県HPでは、10点刻みのIRT平均スコアで表されている。

- ・小学校は、いずれの教科も全国平均及び県平均を上回った。
- ・中学校は、国語、数学において全国平均及び県平均を上回った。英語については、全国平均県及び平均を下回った。